

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	自然の家事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	青少年室	事業名	自然の家管理事業		
事業概要						
自然の家管理(指定管理者施設管理)						
活動実績						
令和4年度については安心・安全、利用者の視点に立った施設運営を第一に、新型コロナウイルス対策も含めた施設整備、利用者サービスの質的向上に取り組みました。受け入れにあたっては、野外活動の専門団体としてのノウハウを活かしたプログラム指導を行ったことで、利用された小学校や市内の家族の方々からは引き続き高評価を頂き、令和2年度と比較し利用者数は約4倍、利用団体数は約3倍となりました。また、利用者の安全への配慮として老朽化で生じた本館管理棟屋根の改修及び冷却水ポンプの修繕を行いました。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
(1) 延べ利用者数 令和2年度…4,510人、令和3年度…10,394人、令和4年度…17,851人 (2) 利用団体数 令和2年度…223団体、令和3年度…504団体、令和4年度…656団体 (3) 令和4年度主な修繕実績 本館(管理棟)体育室間下屋根改修業務 745,800円 冷却水ポンプ取替え修繕業務 253,000円 本館(管理棟)体育室間南面屋根改修業務 773,300円		決算額(千円)	189,595	74,002	71,378	
		一般財源の比率(%)	99.4	96.9	92.7	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
		①指定管理者と青少年室で協力して、利用者ニーズの把握や分析等について十分な意見交換を行い、安心・安全に配慮し利用者目線に立った施設運営を図って行きます。 ②施設がオープンして43年が経過しており、老朽化の状況を踏まえて、本市公共施設の最適化計画に基づき、年次計画的な修繕を進める必要がある。				

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	自然体験交流センター事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	青少年室	事業名	自然体験交流センター管理事業		
事業概要						
自然体験交流センター管理（指定管理者施設管理）						
活動実績						
幼児から高齢者まであらゆる世代の市民が、自然の中でリフレッシュしながら自然体験活動や生涯学習の場として活動するとともに、交流の場として利用できるよう、自然体験交流センターの維持管理を行った。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、キャンパスサイトの人数制限により、3密を避けるなどの対応を行った。 年度後半は、基本的な感染症対策は継続しつつ、利用者数の制限を解除したことで、一斉合同防災訓練やチャレンジデーなどの大型の公用事業や主催事業も実施できたため、昨年度と比較して利用者が増えた。 主な施設整備として、多目的ホール、便所、シャワー棟の外壁補修工事を行った。 (1) 利用団体数 令和2年度…404団体、令和3年度…543団体、令和4年度…738団体 (2) 利用者数 令和2年度…11,688人、令和3年度…15,862人、令和4年度…30,208人 本施設は、令和4年3月末で指定管理期間の5年が経過するため、令和3年度に委託事業者の選定を行った。						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	83,157	87,419	103,724	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の比率(%)	97.6	97.4	95.6	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 本施設は、令和4年3月末で指定管理期間の5年が経過するため、令和3年度に委託事業者の選定を行いました。 計画的に維持補修をすることで施設の魅力をさらに向上させるとともに、市と指定管理者が定期的に協議を行うことにより、普段から十分なコミュニケーションを取りながら、引き続きより一層の市民サービスの向上とより良い施設運営を目指す。						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	青少年クリエイティブセンター事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター管理事業		
事業概要						
青少年クリエイティブセンター管理						
活動実績						
青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、青少年クリエイティブセンターを管理し、施設を良好な状態に維持した。 施設利用者数 (1)青少年会館 令和2年度…9,364人、令和3年度…9,966人、令和4年度…10,842人 (2)体育館 令和2年度…13,844人、令和3年度…11,884人、令和4年度…15,962人 (3)運動広場 令和2年度…12,496人、令和3年度…11,953人、令和4年度…13,318人 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、検温や手指消毒の徹底し、施設内での飲食や道具の貸出の制限、定員の人数制限を実施しながらも、休館することなく運営したことから利用者数が増加した。						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	36,785	53,739	69,843	
		一般財源の比率(%)	99.9	99.9	99.9	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			昭和56年(1981年)に建設されてから40年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいるため、近年では屋上防水工事や外壁改修工事、エレベーター改修工事を実施し、令和4年度は体育館屋上防水工事を実施した。今後も利用者が日常的に安全かつ安心して利用できる施設改修を計画的に行っていく。 また、利用者の属性や来館時期に偏りが見られることから、施設を有効的に活用するため、青少年を取り巻く状況・市民ニーズを把握し、より多くの青少年が利用しやすい施設となるような施策展開の検討が必要。	今後の実施計画の方向性・内容 継続

2	所管室課	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター主催事業		
事業概要						
青少年クリエイティブセンター運営						
活動実績						
青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、青少年クリエイティブセンターにおいて事業を実施した。 主催事業件数 (1)学習活動推進事業 令和2年度…21件、令和3年度…26件、令和4年度…23件 (2)交流推進事業 令和2年度…8件、令和3年度…8件、令和4年度…8件 (3)子育て支援事業 令和2年度…5件、令和3年度…5件、令和4年度…5件 (4)情報提供事業 令和2年度…2件、令和3年度…2件、令和4年度…2件						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	9,439	11,955	12,606	
		一般財源の比率(%)	99.6	99.1	99.3	※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			青少年の健全な育成と交流の支援を目的とし、さまざまな主催事業を実施しているが、施設設置当初からの社会情勢の変化に対応し、今の時代に即した事業となっているかの検証と、若者の課題や要望を把握し、事業に反映する検討が必要。	今後の実施計画の方向性・内容 継続

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	青少年活動サポートプラザ事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ管理事業		
事業概要						
青少年活動サポートプラザ管理（指定管理者施設管理）						
活動実績						
青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その成長又は発展に応じた支援を目的として、子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザの施設の貸館業務及び維持管理を行った。また、利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズを把握し、事業運営に反映させた。 (1) 貸室利用件数 令和2年度…7,524件、令和3年度…9,049件、令和4年度…12,545件 (2) 貸室利用者数 令和2年度…63,452人、令和3年度…69,006人、令和4年度…109,578人		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額(千円)	76,790	80,963	98,625	
		一般財源の比率(%)	93.3	94.5	92.4	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 これまで、交流活動支援業務は委託事業者、貸館業務は指定管理事業者がそれぞれ行っていたが、各業務の繁忙時に互いに応援体制が組めないこと等の課題があった。 令和4年度から委託業務である交流活動支援業務を指定管理者の業務範囲に加え、ソフトとハードを一体的に運営することによって、職員体制を柔軟に組み合わせることができ、より安定的に業務を運営することができるようになった。 今後も計画的な設備の更新や修繕を実施し、市民の方が安心して利用できる施設を目指す。						

2	所管室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ主催事業		
事業概要						
青少年活動サポートプラザ運営						
活動実績						
(1) 青少年交流活動支援事業 青少年の自立や社会参画を促すことを目的とした居場所づくりや青少年の自主的な活動の支援、各種イベントの企画運営を行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、学習室の利用や交流ロボットの運営を行った。 【青少年交流活動支援におけるイベント参加者数】 令和2年度…1,117人、令和3年度…1,009人、令和4年度…4,596人 【学習室の提供】 令和2年度…17,514人、令和3年度…23,546人、令和4年度…30,766人 (2) 青少年委員会の開催 青少年活動サポートプラザにおいて、青少年の立場でより良い施設とするための意見を聴取し、イベントの企画・運営など幅広い活動を実施した。(延べ人数) 令和2年度…44人、令和3年度…59人、令和4年度…106人 (3) 施設連携イベント 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、夢つながり未来館の3施設が連携し、夏まつり等を開催した。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額(千円)	17,358	17,722	7,002	
		一般財源の比率(%)	99.9	99.9	99.7	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 これまで、交流活動支援業務は委託事業者、貸館業務は指定管理事業者がそれぞれ行っていたが、部屋の設備を活用したイベント等の実施が難しいことや事業者がもつノウハウを生かしてきていない等の課題があった。 令和4年度から委託業務である交流活動支援業務を指定管理者の業務範囲に加え、ソフトとハードを一体的に運営することによって、事業者のノウハウを生かした事業が可能となった。 今後も青少年が体験や交流を通して成長できるように、さらに魅力的な事業を展開していく。						

3	所管室課	青少年室	事業名	青少年活動サポートプラザ相談事業		
事業概要						
青少年活動サポートプラザ相談						
活動実績						
子ども・若者育成支援推進法に基づく子ども・若者総合相談センター(ぶらっとるーむ吹田)として、相談を実施している。 (1) 新規相談件数 令和2年度…192件、令和3年度…295件、令和4年度…348件 (2) 社会参画につながったケース 令和2年度…56件、令和3年度…60件、令和4年度…93件 (3) 他機関協議の実施回数 令和2年度…734回、令和3年度…1,223回、令和4年度…1,387回 (4) アウトリーチ(訪問支援)の実施回数 令和2年度…317回、令和3年度…389回、令和4年度…382回 子ども・若者総合相談センターでは、社会生活を円滑に営む上での困難を有する青少年(39歳まで)及びその家族に対し、相談員が子ども・若者支援地域協議会を活用し、関係機関と連携しながら面談やアウトリーチ(訪問)等を行い、自立に向けて支援した。 また、支援が必要でありながら、適切な支援につながっていない複合的課題を有する青少年に対し、早期に支援を届けるため、学校(SSW)や関係機関との連携の強化に努めた。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額(千円)	33,185	35,461	34,626	
		一般財源の比率(%)	51.6	51.8	50.6	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 不登校、ひきこもり、高校中退など、複雑化・複合化した青少年の相談が増加しており、自立に向けて関係機関との連携によるチームでの支援を行っている。学齢期の支援機関はそろっているが、中学校卒業後は支援機関の数が減り、支援が届きにくくなる。今後は、こども家庭庁が創設されたことにより、切れ目のない包括的な支援が求められることから、関係機関との連携を強化し、子供を誰一人取り残すことのない、こどもまんなか社会を進めていく。						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	地域・青少年教育事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	まなびの支援課	事業名	こども110番見まもり活動支援事業		
事業概要						
こども110番見まもり活動支援						
活動実績						
「こども110番の家」運動協力者に旗及びプレート配布した。						
<ul style="list-style-type: none"> 旗 令和2年度…1,602本、令和3年度…1,541本、令和4年度…1,373本 プレート 令和2年度…549枚、令和3年度…397枚、令和4年度…1,266枚 						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	1,475	1,465	1,453	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 令和4年度は、「こども110番の家」運動協力者数が、新型コロナウイルス感染症前の協力者数へと回復傾向になっている。少ない経費で子供の安全確保に寄与していると考えているが、今後も活動の継続と充実を図るため関係者と連携し、より有効な支援をしていく。						
※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続						

2	所管室課	青少年室	事業名	青少年育成事業		
事業概要						
青少年指導員活動、吹田市二十歳を祝う式典、吹田市こども会スポーツ大会、吹田青少年野外コンサート、子供文化鑑賞、ヤングフェスティバル、自然体験活動・環境教育推進、山の学校・海の学校（さわやか元気キャンプ）						
活動実績						
青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援し、豊かな人間性と社会性を育むことを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施した。						
【主な活動実績】						
(1) 山の学校・海の学校（さわやか元気キャンプ） 不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年を対象に、自然体験活動を通じて生きる力を育むキャンプを年4回実施した。 ・参加人数 令和2年度・・・4人 令和3年度・・・35人 令和4年度・・・73人						
(2) 二十歳を祝う式典 二十歳となる成人を祝い励まし、社会人としての自覚を促すため、「二十歳を祝う式典」を市立吹田サッカースタジアムで開催した。 ・参加人数 令和2年度・・・3,880人 令和3年度・・・3,748人 令和4年度・・・3,917人						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	18,797	19,653	21,515	
		一般財源の比率(%)	100.0	99.2	98.8	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 「さわやか元気キャンプ」については、事業実施後、参加者が学校に登校できるようになったという事例が29名中2名あり、ニーズと意義はあるものと考えます。 一人でも多くの児童生徒に機会を提供できるよう、また一人ひとりの状況に合わせて選択できるよう、令和4年度から開催回数を2回から4回に増やし、よりきめ細やかな支援に取り組みました。さらに、当キャンプに参加したことのある、大学生等がスタッフとなるケースが増えていることから、スタッフの研修も充実させていきます。						
※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続						

3	所管室課	青少年室	事業名	青少年指導事業		
事業概要						
吹田市青少年リーダー講習会、吹田市・若狭町こども会リーダー交歓会、吹田市スカウトリーダー養成、青少年指導者講習会、地区青少年健全育成事業への助成、青少年健全育成保険加入等、非行防止・環境整備、青少年問題協議会						
活動実績						
青少年を地域で見守るとともに、青少年指導者を養成することを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施しました。令和4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、「吹田市・若狭町リーダー交歓会」は中止した。						
【主な活動実績】						
(1) 地区青少年健全育成事業への助成 地区青少年対策委員会が実施する青少年健全育成事業への助成を行った。令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となる行事も多く、その余剰金は返納されたが、令和4年度は多くの行事が実施された。 ・補助金額 令和2年度・・・7,323千円 令和3年度・・・6,949千円 令和4年度・・・13,045千円						
(2) 青少年指導者講習会 青少年に関する指導者を対象に、「熱中症対策」や「コロナ禍における感染予防対策」など安全管理に関する講習会をオンライン配信で実施し、指導者の育成支援に取り組んだ。 ・参加者数 令和2年度・・・0人 令和3年度・・・61人 令和4年度・・・203人						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	8,126	7,665	14,379	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 「青少年指導者講習会」は、青少年を取り巻く社会環境等は大きく変わっており、その啓発のためや、地域で青少年に関わるボランティアの担い手養成のため、WEB配信も取り入れるなど充実に努める。 「吹田市・若狭町リーダー交歓会」は、1970年の大阪万博から始まった事業で、一定の期間を経過しており、開催当時から社会環境等が大きく変わっており、時代に合った見直しの協議を若狭町とともに進める。						
※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名